科目名 ビジネス学部(経済・経営・法を含む)・科目4 出席・回答率 (出席・回答率 (出席・回答者数/登録者数) (17/34)

### 設問項目別回答率

#### [I]

(1)あなたは、この授業にどの程度出席していますか。

ア. 毎回出席している イ. 大体出席している ウ. 半分ぐらい出席している エ. あまり出席していない

ア 41.2% イ 52.9% ウ 0.0% エ 5.9%

(2)あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。

ア. かなり積極的である イ. やや積極的である ウ. やや消極的である エ. かなり消極的である

ア 17.6% イ 58.8% ウ 17.6% エ 5.9%

(3)あなたは、この授業に関する自学自習をしていますか。

ア. かなりしている イ. ある程度している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない

ア 11.8% イ 29.4% ウ 35.3% エ 23.5%

(4)シラバスは授業の目標、内容、評価法などを示していますが、この授業を履修するのに役立ちましたか。

ア. かなり役立った イ. ある程度役立った ウ. あまり役立たなかった エ. 全く役立たなかった オ. 読まなかった

ア 29.4% イ 41.2% ウ 11.8% エ 5.9% オ 11.8%

(5)この授業内容のボリューム〈分量〉は適当ですか。

ア. かなり多い イ. やや多い ウ. 適当である エ. やや少ない オ. かなり少ない

ア 17.6% イ 41.2% ウ 41.2% エ 0.0% オ 0.0%

(6)この授業の難易度は適当ですか。

ア. かなり難しい イ. やや難しい ウ. 適当である エ. やや易しい オ. かなり易しい

ア 47.1% イ 47.1% ウ 5.9% エ 0.0% オ 0.0%

(7)担当の先生の説明は分かりやすいですか。

ア. かなり分かりやすい イ. やや分かりやすい ウ. やや分かりにくい エ. かなり分かりにくい

ア 17.6% イ 58.8% ウ 23.5% エ 0.0%

(8)テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか。

ア. かなり役立っている イ. ある程度役立っている ウ. あまり役立っていない エ. 全く役立っていない

ア 29.4% イ 58.8% ウ 5.9% エ 5.9%

(9)担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われますか。

ア. かなりよく準備している イ. ある程度準備している ウ. あまり準備していない エ. 全く準備していない

ア | 52.9% イ | 47.1% ウ | 0.0% エ | 0.0%

(10) 先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか。

ア. かなり感じられる イ. ある程度感じられる ウ. あまり感じられない エ. 全く感じられない

ア 52.9% イ 35.3% ウ 11.8% エ 0.0%

(11)11月の授業内で、「授業改善シート」は実施されましたか。

ア. 実施された イ. 実施されなかった、または、実施時に欠席していた

ア 50.0% イ 50.0%

ア. かなり改善された イ. ある程度改善された ウ. あまり改善されなかった エ. 全く改善されなかった

ア 20.0% イ 60.0% ウ 13.3% エ 6.7%

(13)この授業に関する受講生の声(意見・質問)に対して、教員から何らかの説明がありましたか。

ア. かなり十分な説明があった イ. ある程度説明があった ウ. あまり説明がなかった エ. 全く説明がなかった

ア 25.0% イ 43.8% ウ 12.5% エ 18.8%

(14)この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか。

- ア. かなり刺激される - イ. ある程度刺激される - ウ. あまり刺激されない - エ. 全く刺激されない

ア | 23.5% イ | 64.7% ウ | 0.0% エ | 11.8%

(15)この授業の内容は理解出来ますか。

ア. かなりよく理解できる イ. ある程度理解できる ウ. あまり理解できない エ. 全く理解できない

ア 11.8% イ 64.7% ウ 17.6% エ 5.9%

(16)この授業に満足していますか。

ア. かなり満足している イ. やや満足している ウ. やや不満である エ. かなり不満である

| ア | 23.5% | イ | 47.1% | ウ | 23.5% | エ | 5.9% |

(17) 自分を作り上げる努力をするうえで、この授業は役立ちますか。

ア. かなり役立つ イ. ある程度役立つ ウ. あまり役立たない エ. 全く役立たない

ア | 29.4% イ | 58.8% ウ | 0.0% エ | 11.8%

(18)あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか。

ア. ぜひ薦めたい イ. できるだけ薦めたい ウ. あまり薦めたくない エ. 薦めたくない

ア | 31.3% イ | 37.5% ウ | 18.8% エ | 12.5%

#### 

[A]この授業を履修した動機は何ですか。当てはまるものを全て選びマークしてください。

(19)専門性を高めたいから (20)興味・関心を持ったから

(21) 友達・先輩が取ったから

(22)時間割上の都合から

(23)簡単に単位が取れそうだから

(24)必修だったから

(19)	41.2%	(20)	29.4%	(21)	0.0%
(22)	58.8%	(23)	5.9%	(24)	11.8%

[B]あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うものを全て選びマークしてください。

(25)ビデオなど視聴覚教材の活用

(26) power pointなどのIT教材の活用

(27)上手な板書

(28) 話題や例示の妥当性

(29)この中にはない

(30)満足している

(25)	17.6%	(26)	11.8%	(27)	29.4%
(28)	0.0%	(29)	23.5%	(30)	5.9%

[C]この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか。該当するものを全て選びマークしてください。

(31)教室での対話

(32)教室外での対話

(33)e—mail

(34)オフィスアワー

(35)レポートによる感想や意見

(37)その他

(36)この中にはない 0.0%

(31)	29.4%	(32)	11.8%	(33)	0.0%	(34)	
(35)	5.9%	(36)	29.4%	(37)	0.0%		

## 1)自己評価

(14)の学習意欲の刺激に関する問いに対して、(ア)と(イ)の「刺激される」の合計が88.2%に達していること、(16) の授業満足度に関する問いに対して、(ア)と(イ)の「満足している」の合計が70.6%に達していること、などから判断す ると、私の意図がほぼ伝わっていると考えられる。

しかし、他方、(5)の「この授業内容のボリューム(分量)は適当ですか」の問いに対して、(ア)の「かなり多い」と (イ)の「やや多い」の合計が58.8%と半数を超えていることは考えるべき課題を提起している。本学では金融・証券関 係の講義がその他に開講されていないことから、貨幣論・銀行論・金融システム論・国際金融論・株式投資論のすべ てにわたる最低限の基礎知識を「金融論」で講義せざるをえないが、この矛盾が上記の結果として噴出したものと考 えられる。したがって、学生の声は、金融・証券関係の別の科目の開講を前向きに検討するべきと、語っているように 思われる。

# ②評価に対する教員の思い

記述の箇所で、「30分ぐらいはアンケート用の時間がほしい」と意見があったが、解釈に苦しむところである。学生 がアンケートを書き終わったにもかかわらず教室に拘束することは、学生にとって苦痛になると考え、「書き終えた学 生はアンケート提出後、退室してよろしい。」と指示を与えた。この結果、予定時間内に全ての学生が退室していた。 したがって、上述の記述をした学生は予定時間を十分使わずに退室したにもかかわらず、

アンケート記述の時間が足りないという苦情を述べたことになる。この矛盾の整合的な解釈は現在でも困難であ る。該当する学生がこの文章を読んだならば、ぜひもう一度説明をしてほしい。

その他、「ミニテストを問題を2、3問答えるような楽なものにしてほしい。」という意見があったが、これはFDアン ケートにおける学生の要望の質的区分という問題を提起しているように思われる。

### ③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

苦情のなかで毎回見られるのが、「もう少し黒板に上手な字を書いてほしい。」であり、今回も1名の学生が記述し ていた。教えたい内容が多く、しかも30コマという時間的制約のなかで時間が足りなくなったとき、どうしても字が乱 れる傾向にあることは否めない。しかし、これは私の授業時間配分管理という問題であり、予習段階において1分単 位で時間配分台本を作成し、字を書く時間に余裕を持たせ、丁寧で読みやすい字を書いていきたい。

その他、学生に対する要望であるが、学生諸君は、ミニテスト、小テストの再テストといった持ち込み・参照可の試 験で良い答案を作成するのに、小テストの本テストといった持ち込み・参照不可の試験では点数が半減する。小テス トでも十分準備して試験に臨み、授業内容を論理的に整理する習慣をつけることを学生諸君に望みたい。

※①②③に記載された内容については、学生に対しては、科目名・教員名を記載し学内webにて 公表します。

学外への公表については、教員名を消し、科目名を(例)「学部・科目1」という表記にして公開します。